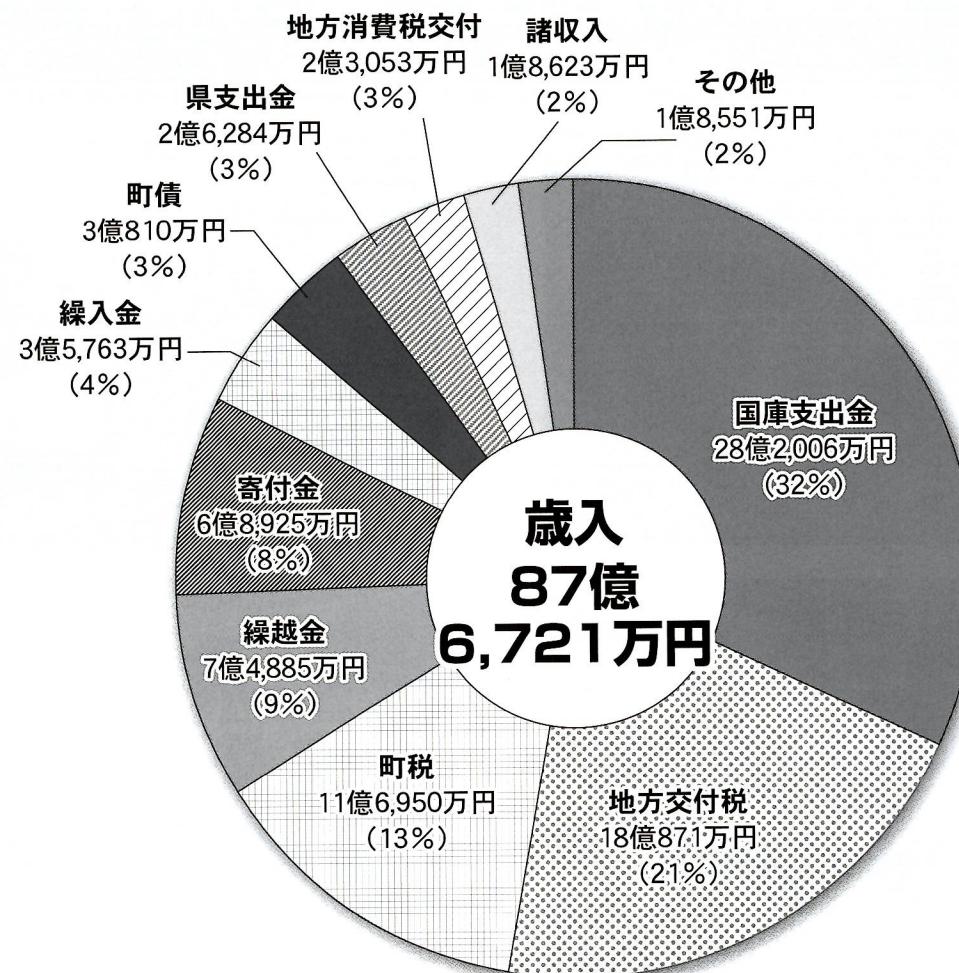


議会だより お・ぶ・せ



令和2年度決算
一般会計

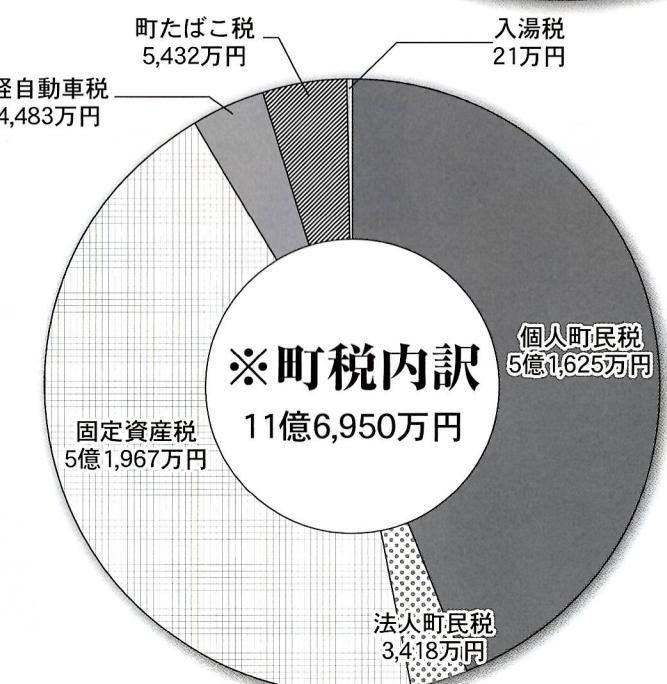
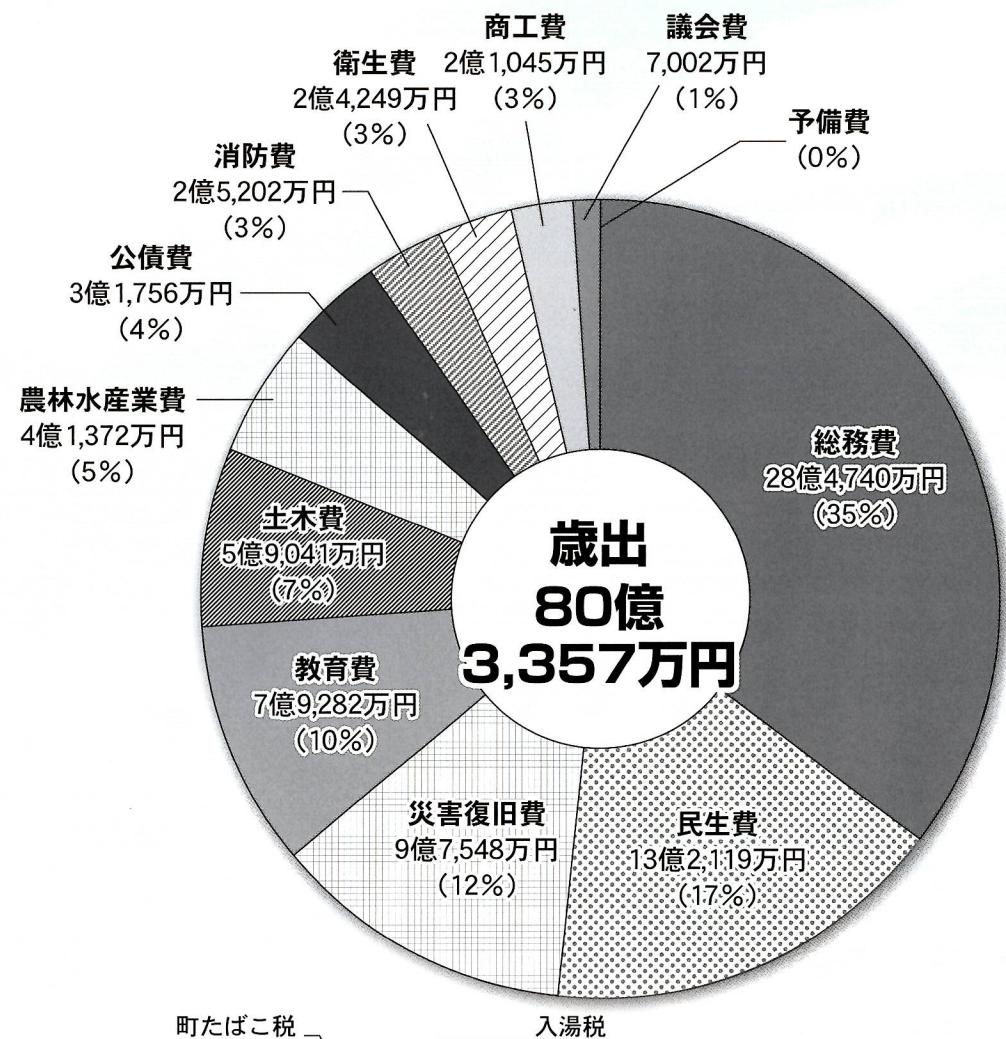
新型コロナ対策関連で前年度比大幅増の



【年度末基金残高の推移】

	H23 決算	H24 決算	H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 決算	H29 決算	H30 決算	R元 決算	R2 決算
財政調整基金	921,074	835,452	601,775	444,160	406,140	262,475	307,223	411,378	395,102	735,394
減債基金	135,235	135,339	135,438	135,553	135,670	135,769	92,851	61,056	2,556	2,557
その他特定目的基金	138,559	213,544	271,820	141,532	146,212	173,020	185,531	290,058	422,988	511,731
定額運用基金	445,417	440,701	551,422	537,470	540,536	519,172	412,629	410,574	330,386	314,205
計	1,640,285	1,625,036	1,560,455	1,258,715	1,228,558	1,090,436	998,234	1,173,066	1,151,032	1,563,887

80億3,357万円の決算を認定



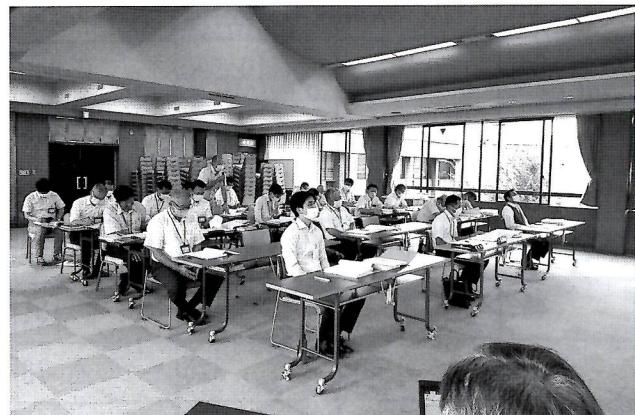
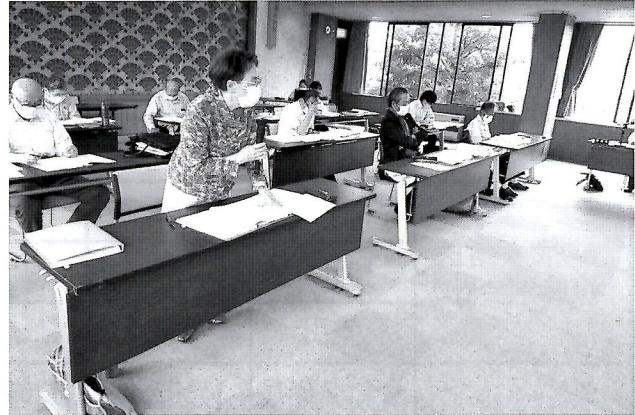
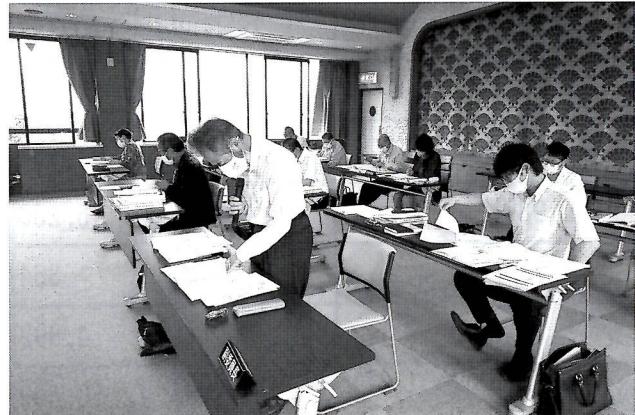
9月定例会は9月6日(月)から24日(金)までの19日間の会期で開かれました。提出された議案は、条例の一部改正、令和3年度補正予算、令和2年度の決算認定など計20件を慎重に審議し、全て原案どおり可決しました。また、最終日には人事案件教育委員会委員の任命について、議員全員同意しました。

行政・経済
効果をチェック

令和2年度

決算特別委員会 第一分科会

(総務課・企画財政課・産業振興課・建設水道課)



令和2年度一般会計

【歳入】

- ② 町税の徴収猶予の有無について
- ③ 町民税個人分が2名、固定資産税として2名該当しました。
- ④ 公営住宅使用料の滞納者に対する退去規定と3ヵ月以上滞納した場合の明け渡しについて
- ⑤ 個別案件として5件、明け渡しについては分納等をお願いしており、即時退去を求めるることは困難です。

【歳出】

総務費

- ⑥ 私の意見箱投書内容の町民への公開については個人が特定されるケースは除き、原則公開しています。

- ① HP等の閲覧状況は
A 291万7415件です。
- ② 災害時食糧備蓄品の賞味期限後の処分方法について
A 処分量は2700食。災害訓練時に配布し、無駄をなくしています。

農林水産業費

- ① 農業共済加入者の減少推移と今後の考え方は
A 共済保険の加入を勧めています。
- ② チェリーキッスの生産量、農家減少についての考え方は
A 春の凍霜害に弱いことがあります、今後も増やすよう努めます。
- ③ 新規就農者は補助金終了後も農業を継続しているかどうか
A 補助金終了後も継続しています。独立した人は8名です。

商工費

- ① 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金等負担金の業種の内訳について
A 業種の内訳は県への直接申請のため把握していません。

土木費

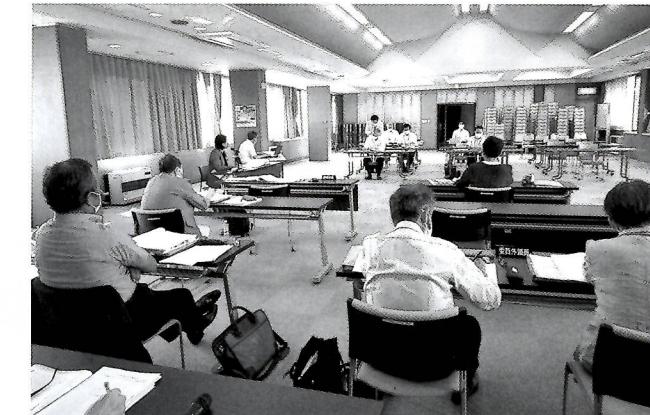
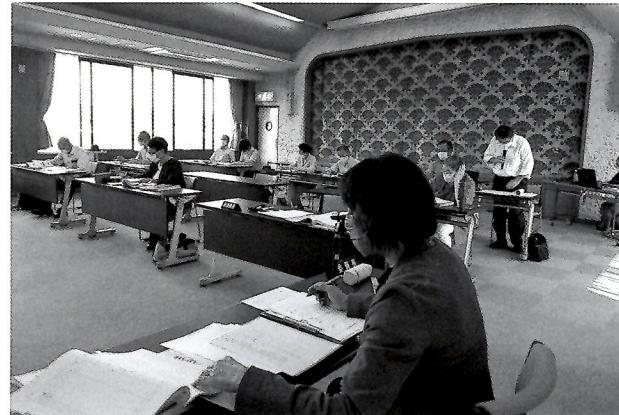
- ① 町道の舗装修繕、改良工事の繰越し台風19号災害の影響なのか、また、繰り越し事業の解消時期について
A 台風19号により計画を変更せざるを得なくなり、令和3年度中には正常になるように努めます。

決算審議

議会が認定!!

決算特別委員会 第二分科会

(健康福祉課・教育委員会)



児童は「おやつ」を食べたがらないので提供していません。保護者にはその旨、説明しています。

衛生費

- ① 不法投棄防止対策は指導員のパトロールだけでなく、防犯カメラ設置など新たな施策の考えは
A 指導員に月1回のパトロールを依頼している。防犯カメラの設置はプライバシー問題や設置場所が広範囲になるので、今のところ必要最低限で地域環境を守っています。
- ② 各種がん検診委託の不用額があるが、その理由は
A コロナ感染症の関係で病院での検診を控えてしまったり、ワクチン接種で町の検診事業の日程を変更したりしたため利用者が減少したものです。

教育費

- ① 小中学校のタブレット導入の現状と先生の指導力向上に対する状況は
A Wi-fi環境が整うのが年度末となるため、本格的スタートが令和3年度となる予定。指導力向上については、現在、県教育委員会からの指導やITCの支援員から様々な指導を受け、グループで研究しながら学んでいます。
- ② 給食センターの職員不足とアレルギー対応食について
A 職員数は充実してきており、配置換えなどして働き方改革を進めています。アレルギー対応食については、養護教員が必ず児童生徒と対面の調査を行ったうえで、しっかりと対応しています。

令和2年度

決算

住民福祉の向上のために予算が使われ
最小の経費で最大の効果があげられて
いるかを審査！

監査委員の意見



— 決算審査 —

一般会計の実質収支差額約6億円。
適法且つ適正と認める。

— 定期監査 —

財政基盤の確立と職員確保に努め
られたい。

- 令和2年度の一般会計及び特別会計の決算審査については、予算に沿って適正な財政運営が行われ、決算数値に問題は認められませんでした。但し、年度内予算消化に極力努めるよう指摘しました。
- 定期監査においては、災害復旧・被災者支援、新型コロナウイルス対策、ふるさと納税・未納の取組について特に評価しました。一方、役場内の業務の見直しと職員確保、各種補助金等の在り方、財政支援団体の管理、透明性のある事業推進、及び水道管布設・403号線整備事業・各種施設の老朽化が進む中での将来を見据えた財政基盤の確立について指摘しました。総括として、等しく町民に寄り添い、サービスが公平に享受される行政運営をお願いすると共に良好な職場環境を築き上げ、誠実に多種多様な政策をしなやかな発想力を持って推進して頂くようお願いしたい。

決算特別委員会 審査の総括

決算特別委員長
小西和実

令和2年度の各会計についての決算審査は、議長と監査委員を除いた議員11名で構成する「決算特別委員会」のもとに2つの分科会を設置して慎重に審議を行いました。

決算の認定について最終的に全会一致で賛成となりましたが、審議途中においては昨年度の実施事業について、各議員から度々非常に厳しい指摘もありました。

具体的には、各大学との連携事業、スラックライン大会補助金、移住定住事業などには特に費用対効果がわかりにくく、事業の廃止や改善などを進めていくべきとの意見も出ていました。

また教育委員会も含めて行政の意思決定プロセスが、議会からも見えにくいという面が指摘されており、今後はより一層の可視化が必要だと思われます。

この令和2年度決算に関する審議内容を踏まえて、来年度の「令和4年度予算」に対する要望を議会から予算要望として提出します。

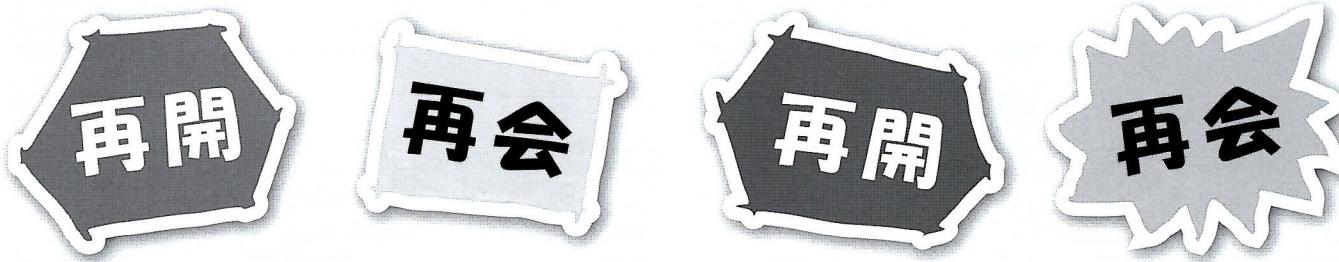
///会計別歳入歳出決算の状況///

(単位：千円)

会計名	年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引	繰越財源	実質収支	単年度収支
一般会計	令和2年度	8,767,209	8,033,566	733,643	135,280	598,363	△ 29,618
	令和元年度	6,041,699	5,292,848	748,851	120,870	627,981	378,860
	差引	2,725,510	2,740,718	△ 15,208	14,410	△ 29,618	△ 408,478
国民健康保険特別会計	令和2年度	1,161,179	1,133,170	28,009	-	28,009	10,188
	令和元年度	1,286,344	1,268,523	17,821	-	17,821	△ 57,766
	差引	△ 125,165	△ 135,353	10,188	-	10,188	67,954
後期高齢者医療特別会計	令和2年度	165,791	159,802	5,989	-	5,989	5,256
	令和元年度	157,978	157,245	733	-	733	364
	差引	7,813	2,557	5,256	-	5,256	4,892
介護保険特別会計	令和2年度	1,103,956	1,045,965	57,991	-	57,991	△ 10,590
	令和元年度	1,044,908	976,327	68,581	-	68,581	△ 3,750
	差引	59,048	69,638	△ 10,590	-	△ 10,590	△ 6,840
下水道事業特別会計	令和2年度	879,243	878,777	466	-	466	△ 458
	令和元年度	587,426	586,389	1,037	113	924	410
	差引	291,817	292,388	△ 571	△ 113	△ 458	△ 868
農業集落排水事業特別会計	令和2年度	55,820	55,363	457	-	457	131
	令和元年度	52,349	52,023	326	-	326	△ 76
	差引	3,471	3,340	131	-	131	207
計	令和2年度	12,133,198	11,306,643	826,555	135,280	691,275	△ 25,091
	令和元年度	9,170,704	8,333,355	837,349	120,983	716,366	318,042
	差引	2,962,494	2,973,288	△ 10,794	14,297	△ 25,091	△ 343,133

水道事業会計 (収益的収支)	令和2年度	229,716	160,943	68,773	令和2年度 繰越財源 21,791		
	令和元年度	219,831	156,673	63,158			
	差引	9,885	4,270	5,615			
水道事業会計 (資本的収支)	令和2年度	16,110	80,992	△ 64,882			
	令和元年度	5,702	65,131	△ 59,429			
	差引	10,408	15,861	△ 5,453			

※原則として表示単位未満を四捨五入していますが、端数処理の関係で合わない場合があります。



小布施町議会は町民の皆様方への議会報告会を感染対策を行いつつ実施しました

議会報告会 & 意見交換会

○日 時：2021(令和3)年7月15日 午後7時～8時30分

○場 所：六川公会堂

○主 催：小布施町議会

(小林(一)議長、寺島広報委員長、小林(正)委員、小渕政策立案委員長、竹内政策立案副委員長、福島総務産業委員長、渡辺委員、中村社会文教委員長)

○参加者：小布施町第7コミュニティ(六川・矢島・清水・中子塚) 12名の皆様

会長からの挨拶



パワーポイントによる説明



第7コミュニティ会長 寺島正雄様

6月会議 追加議案として人事案件1件同意しました。

【人事案件 1件】

○小布施町副町長の選任について

副町長就任あいさつ

令和3年7月1日付けで副町長に就任いたしました新井隆司です。

就任から約3か月経過しましたが、この間、新型コロナウイルス感染症の第5波等による感染拡大や行事等の中止、営業制限などにより、町民や事業者の皆さまの生活や事業活動にも影響がでております。また、8月13日からの大雨により、桃・リンゴなど収穫期を迎えた果樹等に大きな被害が発生しました。

新型コロナの収束を願うとともに、町としてもできる限りの対策・対応を行い、町民の皆さまが安心して生活し、町に賑わいが戻るように取り組んでまいりたいと考えております。

気候変動による災害の甚大化、スマート社会の進展など、私たちを取り巻く環境が変化する中、町民の皆さまの日々の暮らしを支えるとともに、未来の小布施も見据え、もとより微力ではございますが、精一杯取り組んでまいります。町民の皆さまにおかれましては、お力添え、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



小布施町副町長
新井 隆司

7月会議 7月29日、補正予算2件を審議、人事案件1件同意しました。

【補正予算 2件】

○令和3年度小布施町一般会計補正予算について

【財産管理費】

ウイルス対策庁舎等整備事業費 23万円

【企画費】

地域情報通信網整備事業費 1,500万円

【防災対策費】

(1)防災対策費 286万円

(2)防災・環境政策推進委託料 1,615万円

【衆議院議員総選挙費】

衆議院議員総選挙費 136万円

【老人福祉センター費】

老人福祉センター管理費 1,265万円

【予防費】

ワクチン接種事業費他 1,628万円

【商工振興費】

ウイルス対策商工業支援事業費 4,784万円

【幼保小中一貫教育費】

幼保小中一貫教育事業費 1,010万円

【教育振興費】

学生応援支援事業費 450万円

【小学校管理費】

小学校環境整備事業費 63万円

【中学校費 学校管理費】

(1)中学校管理費 △318万円

(2)中学校環境整備事業費 573万円

○令和3年度小布施町水道事業会計補正予算について

【収益的支出】

変更事業認可作成業務委託料 500万円

【資本的支出】

新水源地設置工事 10,000万円

【人事案件 1件】

○小布施町固定資産評価員の選任について

・小布施町固定資産評価員 新井 隆司(副町長)を選任



9月会議 人事案件に同意しました。

教育委員(任期4年) 吉田洋子 氏(押羽)

II 意見交換会 (進行 小渕政策立案委員長)

1 コミュニティ制度関係について

(1) コミュニティ発足の目的、役割、位置付けは。

(回答) 行政の効率的運営と自治会事務の合理化を図りながら、自治会の枠を超えた地域の支え合いの場となるよう、設置されています。

(2) コミュニティの代表会議の開催を提案。

(回答) ご提案いただいた趣旨は理解できますので、議会として町当局に提案します。

2 小規模自治体（中子塚・清水）の高齢化と人口減対策を

(1) 自治会が維持できなくなる。若者の新規定住者の促進を。

(回答) どの自治体でも直面している課題です。議会、議員としても関心を持ち提案していきます。

(2) 都市計画の「線引き」の見直し。

(回答) 都市計画は県レベルの課題です。今まで町は県に対し見直しを求めてきましたが、農村地域の問題だけでなく、町全体の均衡ある発展のため大切な課題です。

3 議会関係

(1) 議会・議員との接点を近くに。

(回答) 議会報告会、議会傍聴等にご出席いただき、議会の活動を知っていただくことが大切です。そのためには皆様が気軽にご出席いただける方策を検討していきます。また、各議員は行事に積極的に参加し、町民の皆様のご意見を聞くように努めます。

(2) 夜間議会の開催を。

(回答) 現在「議会活性化特別委員会」で検討しています。令和2年中の県内の開催実績は一村のみです。理事者、職員を残業させ開催しても、傍聴者数が伸びず、また、コロナ禍のため継続している議会は縮小傾向にあります。

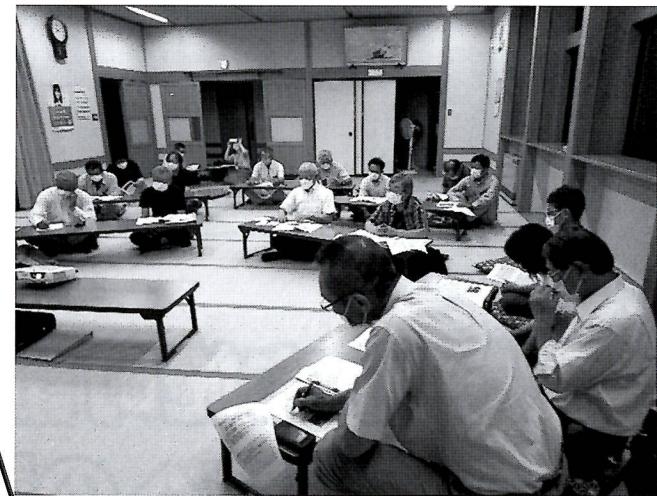
4 その他

(1) 自治会に設置されている「意見箱」に加えて、インターネットでも投書ができるように。

(回答) 令和2年度は20通の投書がありました。若い方が気軽に「意見・提案」のできるインターネットの活用は賛成です。議会として町当局に提案します。

(2) 農村部は人口減少、高齢化が進み、併せて荒廃農地も増え、将来の展望が開けない。

(回答) 人口減少、高齢化、荒廃農地は全国的な課題ですが、幸いに小布施町は「新規就農者」約20名が定住されて、人口増と荒廃農地防止に貢献されています。



小林(正)議会広報委員から活動報告しています

—概要—

I 議会報告会 (進行 寺島議会広報委員長)

- ・パワーポイント（PPT）資料による説明（15分）（小林（正）議会広報委員）
- ・補足説明として、「新たな議会活性化検討特別委員会の設置趣旨及び経過説明及びアシスター会議の意見集約の概要説明（3分）（寺島議会広報委員長）

◇ 報告会次第 ◇

- 1 開会のあいさつ 議長
　　コミュニケーション代表
- 2 議会報告
 - (1) 議会の仕組み
 - (2) 令和3年度当初予算
 - (3) 小布施町議会

①議会改革の変遷
②特別委員会報告
③新たな議会活性化特別委員会
- 3 質疑応答
- 4 意見交換会
- 5 閉会のあいさつ 議長

Q コロナウイルスのデルタ株は感染力が強く、県内でも過去最高の感染者数を更新し、町民の不安感も強くなっています。以前にも増して感染予防対策を図る必要があると思います。長野県が抗原簡易キットを活用した陽性者の早期発見促進事業として希望者に配布することが報道されました。抗原簡易キットで陰性が出てもPCR検査では陽性がでることもありますが、複数回検査や正しい検査のやり方を指導し活用することが感染予防対策として有効だと思います。濃厚接触者になると二週間の隔離を求め生活に支障が出て、経済的に大変になるので、支援策の一覧表があると助かるという声を聞きます。

Q 感染予防方法、支援金などの

① 県と連携し、簡易検査（抗原定性検査）キットを希望者に配布する
② 感染予防方法、支援金などの

竹内淳子議員



竹内淳子議員

益満健康福祉

課長補佐

新型コロナウイルス感染予防対策と、支援について

長野県の事業と連携し抗原簡易キットを希望者に配布

感染予防対策や各種支援策については周知を図る

情報を一覧表にして再度配布する考えはありますか。

- A**
- ① 県と連携し抗原簡易キットを丁寧に周知し、慎重に判断し希望者に配布します。
 - ② 感染予防対策や各種支援策については必要に応じチラシなどで周知を図ります。

持続可能な農業施策について

富岡産業振興課長

今後、県や他市町村と足並みを揃え機運を高めて進めていく

農林水産省は今年5月に、持続可能な食料システムの構築に向けて中長期的な観点から、調達、生産、加工、流通、消費の各段階の取り組みとカーボンニュートラル等の環境負荷軽減の「みどりの食料システム戦略」を

① 持続可能な食料システムの構築として、農林省の有機農業と地域振興を考える自治体ネットワークに加入する考えはありますか。

② 機農業農村支援センターJAなどと連携して進めたいことになると考えます。

③ 学校給食の利活用は当然考えられます、安定的な供給の確保や価格の面から供給側・消費者の理解が必要と考えます。

④ 目標を達成するためには、休耕地利用の考えはありますか。

⑤ 休耕地利用の考えはありますか。

⑥ 情報収集として、農林省の有機農業と地域振興を考える自治体ネットワークに加入する考えはありますか。

⑦ 情報収集として、農林省の有機農業農村支援センターJAなどと連携して進めたいことになると考えます。

⑧ 脱二酸化炭素、ごみゼロへの施策についてお聞きします。

A

- ① 県農業農村支援センターJAなどと連携して進めたいことになると考えます。
- ② 学校給食の利活用は当然考えられます、安定的な供給の確保や価格の面から供給側・消費者の理解が必要とと考えます。
- ③ 機農業農村支援センターJAなどと連携して進めたいことになると考えます。
- ④ 脱二酸化炭素、ごみゼロへの施策についてお聞きします。

生ごみコンポスト購入についての補助金は考えます。
② 住宅省エネ化のためのリフォームなどの補助金についての考えはありますか。

大宮総務課長

必要があれば制度化・予算化に向けて取り組む

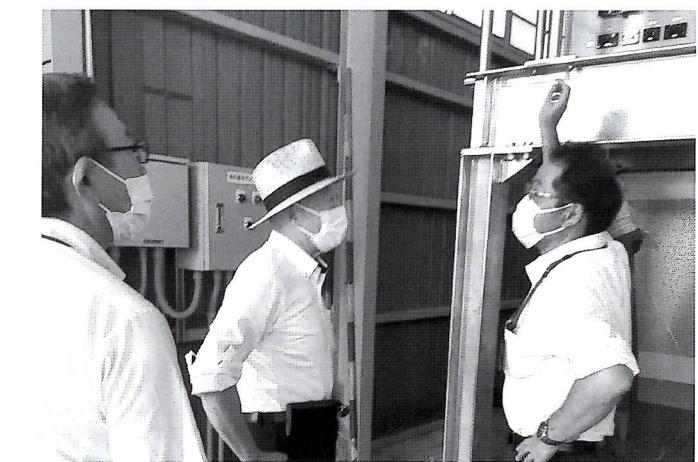
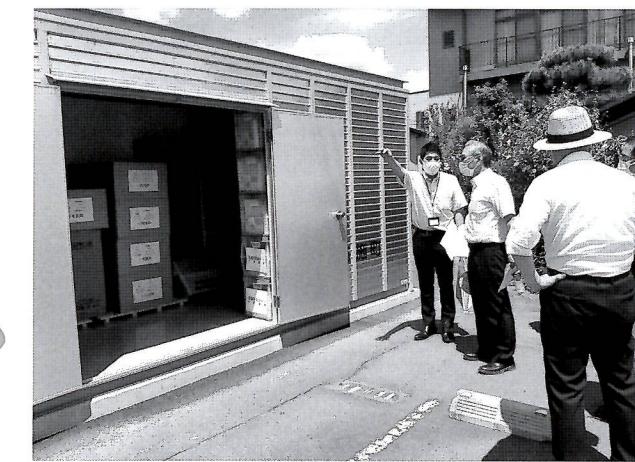
耕地他、現状の耕作地でも進めていかなければならぬと考えます。いかなければならぬと考えます。策定された戦略に対しうまき合っていくのかまだ議論に至っていないので、現状即加入ということは考えていません。

耕地他、現状の耕作地でも進めていかなければならぬと考えます。

議会選出 渡辺建次 監査委員のあいさつ

議会構成の改選が行なわれ、新たに監査委員として議会で選出されました。

畔上代表監査委員と共に、公正不偏の態度を保持して、住民福祉の増進に資することを誓い、新任のあいさつといたします。



新しくなった備蓄倉庫の現場監査で担当職員から説明を受ける

令和3年9月会議

一 目 次 一

①竹内 淳子	13
新型コロナウイルス感染予防対策・支援について 他	
②小西 和実	14
地域交通の検討について	
③大島 孝司	15
1 令和2年度重点施策の総括は 2 国土強靭化計画の策定は	
④関 悅子	16
1 移住定住促進は総合的な施策とワン ストップサポートで 2 校長住宅の早期取り壊しを	
⑤小林 正子	17
災害発生時・警報が発出された時の避 難所設置体制と受け入れ態勢の構築に について 他	
(○数字は発言順番)	

A 両方の路肩に白線ラインは必須と思われるが、実施の方向は。
子供たちを巻き込んだ事故が各所に発生しております。道幅が狭く農作業車が通る生活道路で白線のない通学路はあります。交通安全対策として地元自ら各所に見られます。が、安全通学のために蓋掛けの整備の考えは。

Q 現在の通学路は町道が農道との併用道路が大多数で思われるが、実施の方向は。
子供たちを巻き込んだ事故が各所に発生しております。道幅が狭く農作業車が通る生活道路で白線のない通学路はあります。交通安全対策として地元自ら各所に見られます。が、安全通学のために蓋掛けの整備の考えは。



大島～福原踏切

Q 治会や「通学路安全協議会」で危険個所として取り上げられた場合には事業化を考えます。また、経年劣化で薄くなったり消えたり傷みの激しい個所について毎年の予算の範囲内で実施しています。

Q 通学路の途中に開口水路が各所に見られます。が、安全部門のためにも蓋掛けの整備の考え方。

Q が各所に見られます。が、安全部門のためにも蓋掛けの整備の考え方。

A 地元地区要望事業となつておらず、地元負担金をいただたなかで地元自治会の意向に沿つて対応します。

Q 長雨の影響か家庭の生け垣が通学路をふさいでいる個所が見られます。自治会や所有者への指導や周知は。

A 伸びた樹木の枝等がはみ出さないよう町報、広報おぶせ、ホームページで指導や周知をお願いしています。また、地元の交通安全協会支部にも点検をお願いしたり交通安全の確保に努めています。

Q 踏切の拡幅事業は多額の費用がかかるため町としてするとした場合は国の補助制度の活用を考えております。

A 町では大島自治会からの拡幅要求を受け国・県に相談しましたが、近接する唐沢踏切の廃止が必要との話がありました。大島自治会が中心となり関係者による意見交換が行われており、意見統一がされた段階で必要な対応をしてまいります。

当面は通学路のカラー舗装を進めるとともに車を運転する方に安全な運転を呼びかけてまいります。



確保された通学路



通学路ラインが必要な道路

Q 児童・生徒の視力低下を防ぐには
A 保護者に協力ををお願いしています

Q 生活困窮者への「まいまいさぼ信州長野」と連携し、相談・支援をしたい
A 新聞等の報道によると、生活困窮者を対象とした生活就労支援センター「まいさぼ」への相談件数が、7月29日現在、過去最多前年度比約2.3倍の8512件に上ったとのこと。また、生活保護については、昨年12月から今年3月まで前年同月比、申請が3～4割増、支給決定は1～5割増になっています。

(1) 小布施町の「まいさぼ」と生活保護相談状況はどうなっていますか。

(2) 日本の社会保障給付は、申請主義が基本だが、危機下では助けを必要とする人ほど、どんな支援があるかを把握できない状況に陥るといわれています。支援が必要な人の申請がなくとも、行政の側から寄り添った「まいまいさぼ信州長野」と連携してまいります。

Q 8050問題(ひきこもり)対策の進捗状況と不登校対策は重層的支援のために、関係者が連携しています
A 不登校生のために、「中間教室」を開設しました

Q 生活保護受給者は、令和2年度で6世帯6名、令和3年

Q 文部科学省による2019年の調査による小布施町の小中学生の裸眼視度8月末で8世帯10名です。生活困窮者の相談は、県社協が運営する「まいさぼ信州長野」と連携し、生活保護申請に至る前段階から関わり、対応の進捗確認を進めています。

(2) どなたを対象にどのような支援が必要で適切な支援なのか、支援が必要で適切な支援なのか、支援でその方の生活を改善してけるなど、ご本人と話しながら判断支援していく必要があると考えています。今後も、国の給付金などと並行して、町が上乗せ支給できる場合など条件がそろつた場合考慮してまいります。

(1) 係の大学教授の提言)小布施町の小中学生の裸眼視度1.0未満の割合はどのように推移していますか。

(2) スマートフォンの普及も影響があると思われます。小中学生の周知はどうなっていますか。

(1) 小布施町の小中学生の裸眼視度1.0未満の割合はどのように推移していますか。

(2) スマホの普及率は、小学生は家族との共用を含めて50%、中学生は家族との共用を含めて70%近くです。保護者の協力でルール作りに対してもトラブルが生じることのないよう注意をお願いしています。

Q 中島教育長
重層的支援のために、関係者が連携しています
A 不登校生のために、「中間教室」を開設しました

Q 生活保護受給者は、令和2年度で6世帯6名、令和3年

Q 生活困窮者への「まいまいさぼ信州長野」と連携し、相談・支援をしたい
A 新聞等の報道によると、生活困窮者を対象とした生活就労支援センター「まいさぼ」への相談件数が、7月29日現在、過去最多前年度比約2.3倍の8512件に上ったとのこと。また、生活保護については、昨年12月から今年3月まで前年同月比、申請が3～4割増、支給決定は1～5割増になっています。

(1) 小布施町の「まいさぼ」と生活保護相談状況はどうなっていますか。

(2) 日本の社会保障給付は、申請主義が基本だが、危機下では助けを必要とする人ほど、どんな支援があるかを把握できない状況に陥るといわれています。支援が必要な人の申請がなくとも、行政の側から寄り添った「まいまいさぼ信州長野」と連携してまいります。

Q 文部科学省による2019年の調査による小布施町の小中学生の裸眼視度8月末で8世帯10名です。生活困窮者の相談は、県社協が運営する「まいさぼ信州長野」と連携し、生活保護申請に至る前段階から関わり、対応の進捗確認を進めています。

(2) どなたを対象にどのような支援が必要で適切な支援なのか、支援が必要で適切な支援なのか、支援でその方の生活を改善してけるなど、ご本人と話しながら判断支援していく必要があると考えています。今後も、国の給付金などと並行して、町が上乗せ支給できる場合など条件がそろつた場合考慮してまいります。

(1) 係の大学教授の提言)小布施町の小中学生の裸眼視度1.0未満の割合はどのように推移していますか。

(2) スマートフォンの普及も影響があると思われます。小中学生の周知はどうなっていますか。

(1) 小布施町の小中学生の裸眼視度1.0未満の割合はどのように推移していますか。

(2) スマホの普及率は、小学生は家族との共用を含めて50%、中学生は家族との共用を含めて70%近くです。保護者の協力でルール作りに対してもトラブルが生じることのないよう注意をお願いしています。

Q 中島教育長
重層的支援のために、関係者が連携しています
A 不登校生のために、「中間教室」を開設しました

Q 生活保護受給者は、令和2年度で6世帯6名、令和3年

Q 児童・生徒の視力低下を防ぐには
A 保護者に協力ををお願いしています

Q 生活困窮者への「まいまいさぼ信州長野」と連携し、相談・支援をしたい
A 新聞等の報道によると、生活困窮者を対象とした生活就労支援センター「まいさぼ」への相談件数が、7月29日現在、過去最多前年度比約2.3倍の8512件に上ったとのこと。また、生活保護については、昨年12月から今年3月まで前年同月比、申請が3～4割増、支給決定は1～5割増になっています。

(1) 小布施町の「まいさぼ」と生活保護相談状況はどうなっていますか。

(2) 日本の社会保障給付は、申請主義が基本だが、危機下では助けを必要とする人ほど、どんな支援があるかを把握できない状況に陥るといわれています。支援が必要な人の申請がなくとも、行政の側から寄り添った「まいまいさぼ信州長野」と連携してまいります。

Q 文部科学省による2019年の調査による小布施町の小中学生の裸眼視度8月末で8世帯10名です。生活困窮者の相談は、県社協が運営する「まいさぼ信州長野」と連携し、生活保護申請に至る前段階から関わり、対応の進捗確認を進めています。

(2) どなたを対象にどのような支援が必要で適切な支援なのか、支援が必要で適切な支援なのか、支援でその方の生活を改善してけるなど、ご本人と話しながら判断支援していく必要があると考えています。今後も、国の給付金などと並行して、町が上乗せ支給できる場合など条件がそろつた場合考慮してまいります。

(1) 係の大学教授の提言)小布施町の小中学生の裸眼視度1.0未満の割合はどのように推移していますか。

(2) スマートフォンの普及も影響があると思われます。小中学生の周知はどうなっていますか。

(1) 小布施町の小中学生の裸眼視度1.0未満の割合はどのように推移していますか。

(2) スマホの普及率は、小学生は家族との共用を含めて50%、中学生は家族との共用を含めて70%近くです。保護者の協力でルール作りに対してもトラブルが生じることのないよう注意をお願いしています。

Q 中島教育長
重層的支援のために、関係者が連携しています
A 不登校生のために、「中間教室」を開設しました

Q 生活保護受給者は、令和2年度で6世帯6名、令和3年

Q 児童・生徒の視力低下を防ぐには
A 保護者に協力ををお願いしています

Q 生活困窮者への「まいまいさぼ信州長野」と連携し、相談・支援をしたい
A 新聞等の報道によると、生活困窮者を対象とした生活就労支援センター「まいさぼ」への相談件数が、7月29日現在、過去最多前年度比約2.3倍の8512件に上ったとのこと。また、生活保護については、昨年12月から今年3月まで前年同月比、申請が3～4割増、支給決定は1～5割増になっています。

(1) 小布施町の「まいさぼ」と生活保護相談状況はどうなっていますか。

(2) 日本の社会保障給付は、申請主義が基本だが、危機下では助けを必要とする人ほど、どんな支援があるかを把握できない状況に陥るといわれています。支援が必要な人の申請がなくとも、行政の側から寄り添った「まいまいさぼ信州長野」と連携してまいります。

Q 文部科学省による2019年の調査による小布施町の小中学生の裸眼視度8月末で8世帯10名です。生活困窮者の相談は、県社協が運営する「まいさぼ信州長野」と連携し、生活保護申請に至る前段階から関わり、対応の進捗確認を進めています。

(2) どなたを対象にどのような支援が必要で適切な支援なのか、支援が必要で適切な支援なのか、支援でその方の生活を改善してけるなど、ご本人と話しながら判断支援していく必要があると考えています。今後も、国の給付金などと並行して、町が上乗せ支給できる場合など条件がそろつた場合考慮してまいります。

(1) 係の大学教授の提言)小布施町の小中学生の裸眼視度1.0未満の割合はどのように推移していますか。

(2) スマートフォンの普及も影響があると思われます。小中学生の周知はどうなっていますか。

(1) 小布施町の小中学生の裸眼視度1.0未満の割合はどのように推移していますか。

(2) スマホの普及率は、小学生は家族との共用を含めて50%、中学生は家族との共用を含めて70%近くです。保護者の協力でルール作りに対してもトラブルが生じることのないよう注意をお願いしています。

Q 中島教育長
重層的支援のために、関係者が連携しています
A 不登校生のために、「中間教室」を開設しました

Q 生活保護受給者は、令和2年度で6世帯6名、令和3年

Q 児童・生徒の視力低下を防ぐには
A 保護者に協力ををお願いしています

Q 生活困窮者への「まいまいさぼ信州長野」と連携し、相談・支援をしたい
A 新聞等の報道によると、生活困窮者を対象とした生活就労支援センター「まいさぼ」への相談件数が、7月29日現在、過去最多前年度比約2.3倍の8512件に上ったとのこと。また、生活保護については、昨年12月から今年3月まで前年同月比、申請が3～4割増、支給決定は1～5割増になっています。

(1) 小布施町の「まいさぼ」と生活保護相談状況はどうなっていますか。

(2) 日本の社会保障給付は、申請主義が基本だが、危機下では助けを必要とする人ほど、どんな支援があるかを把握できない状況に陥るといわれています。支援が必要な人の申請がなくとも、行政の側から寄り添った「まいまいさぼ信州長野」と連携してまいります。

Q 文部科学省による2019年の調査による小布施町の小中学生の裸眼視度8月末で8世帯10名です。生活困窮者の相談は、県社協が運営する「まいさぼ信州長野」と連携し、生活保護申請に至る前段階から関わり、対応の進捗確認を進めています。

(2) どなたを対象にどのような支援が必要で適切な支援なのか、支援が必要で適切な支援なのか、支援でその方の生活を改善してけるなど、ご本人と話しながら判断支援していく必要があると考えています。今後も、国の給付金などと並行して、町が上乗せ支給できる場合など条件がそろつた場合考慮してまいります。

(1) 係の大学教授の提言)小布施町の小中学生の裸眼視度1.0未満の割合はどのように推移していますか。

(2) スマートフォンの普及も影響があると思われます。小中学生の周知はどうなっていますか。

(1) 小布施町の小中学生の裸眼視度1.0未満の割合はどのように推移していますか。

(2) スマホの普及率は、小学生は家族との共用を含めて50%、中学生は家族との共用を含めて70%近くです。保護者の協力でルール作りに対してもトラブルが生じることのないよう注意をお願いしています。

Q 中島教育長
重層的支援のために、関係者が連携しています
A 不登校生のために、「中間教室」を開設しました

Q 生活保護受給者は、令和2年度で6世帯6名、令和3年

Q 児童・生徒の視力低下を防ぐには
A 保護者に協力ををお願いしています

Q 生活困窮者への「まいまいさぼ信州長野」と連携し、相談・支援をしたい
A 新聞等の報道によると、生活困窮者を対象とした生活就労支援センター「まいさぼ」への相談件数が、7月29日現在、過去最多前年度比約2.3倍の8512件に上ったとのこと。また、生活保護については、昨年12月から今年3月まで前年同月比、申請が3～4割増、支給決定は1～5割増になっています。

(1) 小布施町の「まいさぼ」と生活保護相談状況はどうなっていますか。

(2) 日本の社会保障給付は、申請主義が基本だが、危機下では助けを必要とする人ほど、どんな支援があるかを把握できない状況に陥るといわれています。支援が必要な人の申請がなくとも、行政の側から寄り添った「まいまいさぼ信州長野」と連携してまいります。

Q 文部科学省による2019年の調査による小布施町の小中学生の裸眼視度8月末で8世帯10名です。生活困窮者の相談は、県社協が運営する「まいさぼ信州長野」と連携し、生活保護申請に至る前段階から関わり、対応の進捗確認を進めています。

(2) どなたを対象にどのような支援が必要で適切な支援なのか、支援が必要で適切な支援なのか、支援でその方の生活を改善してけるなど、ご本人と話しながら判断支援していく必要があると考えています。今後も、国の給付金などと並行して、町が上乗せ支給できる場合など条件がそろつた場合考慮してまいります。

(1) 係の大学教授の提言)小布施町の小中学生の裸眼視度1.0未満の割合はどのように推移していますか。

(2) スマートフォンの普及も影響があると思われます。小中学生の周知はどうなっていますか。

(1) 小布施町の小中学生の裸眼視度1.0未満の割合はどのように推移していますか。

(2) スマホの普及率は、小学生は家族との共用を含めて50%、中学生は家族との共用を含めて70%近くです。保護者の協力でルール作りに対してもトラブルが生じることのないよう注意をお願いしています。

Q 中島教育長
重層的支援のために、関係者が連携しています
A 不登校生のために、「中間教室」を開設しました

Q 生活保護受給者は、令和2年度で6世帯6名、令和3年

Q 児童・生徒の視力低下を防ぐには
A 保護者に協力ををお願いしています

Q 生活困窮者への「まいまいさぼ信州長野」と連携し、相談・支援をしたい
A 新聞等の報道によると、生活困窮者を対象とした生活就労支援センター「まいさぼ」への相談件数が、7月29日現在、過去最多前年度比約2.3倍の8512件に上ったとのこと。また、生活保護については、昨年12月から今年3月まで前年同月比、申請が3～4割増、支給決定は1～5割増になっています。

(1) 小布施町の「まいさぼ」と生活保護相談状況はどうなっていますか。

(2) 日本の社会保障給付は、申請主義が基本だが、危機下では助けを必要とする人ほど、どんな支援があるかを把握できない状況に陥るといわれています。支援が必要な人の申請がなくとも、行政の側から寄り添った「まいまいさぼ信州長野」と連携してまいります。

Q 文部科学省による2019年の調査による小布施町の小中学生の裸眼視度8月末で8世帯10名です。生活困窮者の相談は、県社協が運営する「まいさぼ信州長野」と連携し、生活保護申請に至る前段階から関わり、対応の進捗確認を進めています。

(2) どなたを対象にどのような支援が必要で適切な支援なのか、支援が必要で適切な支援なのか、支援でその方の生活を改善してけるなど、ご本人と話しながら判断支援していく必要があると考えています。今後も、国の給付金などと並行して、町が上乗せ支給できる場合など条件がそろつた場合考慮してまいります。

(1) 係の大学教授の提言)小布施町の小中学生の裸眼視度1.0未満の割合はどのように推移していますか。

(2) スマートフォンの普及も影響があると思われます。小中学生の周知はどうなっていますか。

(1) 小布施町の小中学生の裸眼視度1.0未満の割合はどのように推移していますか。

(2) スマホの普及率は、小学生は家族との共用を含めて50%、中学生は家族との共用を含めて70%近くです。保護者の協力でルール作りに対してもトラブルが生じることのないよう注意をお願いしています。

Q 中島教育長
重層的支援のために、関係者が連携しています
A 不登校生のために、「中間教室」を開設しました

Q 生活保護受給者は、令和2年度で6世帯6名、令和3年

Q 児童・生徒の視力低下を防ぐには
A 保護者に協力ををお願いしています

Q 行政サービスの最近の主な論点として、長年の「紙」に代表されるデジタル化の活用の遅れが指摘されています。

現政府での「はんこ行政」からの脱却化の動きがありましたが、紙での提出が官公庁で求められ、本来のデジタル化の潜在能力が生かせません。

二十一世紀に向けた2000年当時からのe-Japan構想からデジタル社会の実現は未だといった感です。このことから、行政におけるDX（デジタルインフォメーション）を推進するため、人材とIT運用改革が課題と捉えることから、大きく3点について伺います。

自治体では近年多発する職員の人員不足が課題となっています。

人員不足が解消されない中での業務量の膨大な増加が健康を脅かすことがあります。職員や健康を害することのないよう、健康や職場状況に配慮した対応が求められています。職員や健康を害すことにつながっています。

職員から相談が寄せられたりメンタル疾患の急増につながっています。職員や健康を害すことができる環境を実現することがどれだけ難しいかを感じるほど深刻です。

このような現状を踏まえ、2019年に義務付けられた「改正労働施策総合推進法」のハラスメント現況と対策について質問いたします。

①当町職場でのハラスメントの実態について

職員からの相談、苦情申立の手順など、どのように対応しましたか

町の要綱ではパワーハラスメントの認定の

中村雅代議員

Q 自治体では近年多発する職員の人員不足が課題となっています。

人員不足が解消されない中での業務量の膨大な増加が健康を脅かすことがあります。職員や健康を害すことのないよう、健康や職場状況に配慮した対応が求められています。職員や健康を害すことができる環境を実現することがどれだけ難しいかを感じるほど深刻です。

このような現状を踏まえ、2019年に義務付けられた「改正労働施策総合推進法」のハラスメント現況と対策について質問い合わせます。

①当町職場でのハラスメントの実態について

職員からの相談、苦情申立の手順など、どのように対応しましたか

町の要綱ではパワーハラスメントの認定の

新井副町長

A **Q** 自治体では近年多発する職員の人員不足が課題となっています。

基準はどうなっていますか。また、認定したときの処分などは考えてありますか。

職員から相談が寄せられた場合は内部窓口として担当課の総務課職員が当事者及び関係職員への聞き取り調査を行います。このほか、顧問弁護士による外部相談窓口を設置し、内部窓口での相談が躊躇われる場合や内部窓口を通じた結果に不服がある場合に活用できるようにしています。弁護士が必要と認めるときには、町長が委嘱する3名の弁護士によるハラスメント調査委員会を設置し、事実関係の調査や対応措置を審議することとしています。

なお、令和元年以降、内部窓口や外部窓口への相談により、処分等の必要性の検討に繋がった事案はありません。

A **Q** 職員または係長以上の役職者を対象とした研修会に加え、ハラスメントに対する職場全体の認

新井副町長

A **Q** 自治体では近年多発する職員の人員不足が課題となっています。

基準はどうなっていますか。また、認定したときの処分などは考えてありますか。

職員から相談が寄せられた場合は内部窓口として担当課の総務課職員が当事者及び関係職員への聞き取り調査を行います。このほか、顧問弁護士による外部相談窓口を設置し、内部窓口での相談が躊躇われる場合や内部窓口を通じた結果に不服がある場合に活用できるようにしています。弁護士が必要と認めるときには、町長が委嘱する3名の弁護士によるハラスメント調査委員会を設置し、事実関係の調査や対応措置を審議することとしています。

なお、令和元年以降、内部窓口や外部窓口への相談により、処分等の必要性の検討に繋がった事案はありません。

A **Q** 職員または係長以上の役職者を対象とした研修会に加え、ハラスメントに対する職場全体の認

パワーハラスメントのない良好な職場をめざして

予防・解決マニュアル



中村雅代議員

パワーハラスメントのない良好な職場をめざして

ハラスメント防止のための体制を準備し快適な職場環境づくりの取組を行っています

新井副町長

A

ハラスメント防止のための体制を準備し快適な職場環境づくりの取組を行っています

ハラスメント防止のための体制を準備し快適な職場環境づくりの取組を行っています

ハラスメント防止のための体制を準備し快適な職場環境づくりの取組を行っています

ハラスメント防止のための体制を準備し快適な職場環境づくりの取組を行っています

ハラスメント防止のための体制を準備し快適な職場環境づくりの取組を行っています

ハラスメント防止のための体制を準備し快適な職場環境づくりの取組を行っています



寺島弘樹議員

行政サービス・行政改革に向けた人材の確保及びIT運用改革について

IT職員の採用、外部専門家の活用は重要と考えますが、育成コスト等から、国の支援制度やIT企業人材派遣制度等の活用も図ります

IT職員の採用、外部専門家の活用は重要と考えますが、育成コスト等から、国の支援制度やIT企業人材派遣制度等の活用も図ります

IT職員の採用、外部専門家の活用は重要と考えますが、育成コスト等から、国の支援制度やIT企業人材派遣制度等の活用も図ります

IT職員の採用、外部専門家の活用は重要と考えますが、育成コスト等から、国の支援制度やIT企業人材派遣制度等の活用も図ります

IT職員の採用、外部専門家の活用は重要と考えますが、育成コスト等から、国の支援制度やIT企業人材派遣制度等の活用も図ります

IT職員の採用、外部専門家の活用は重要と考えますが、育成コスト等から、国の支援制度やIT企業人材派遣制度等の活用も図ります

IT職員の採用、外部専門家の活用は重要と考えますが、育成コスト等から、国の支援制度やIT企業人材派遣制度等の活用も図ります

IT職員の採用、外部専門家の活用は重要と考えますが、育成コスト等から、国の支援制度やIT企業人材派遣制度等の活用も図ります

Q 行政サービスの最近の主な論点として、長年の「紙」に代表されるデジタル化の活用の遅れが指摘されています。

現政府での「はんこ行政」からの脱却化の動きがありましたが、紙での提出が官公庁で求められ、本来のデジタル化の潜在能力が生かせません。

二十一世紀に向けた2000年当時からのe-Japan構想からデジタル社会の実現は未だといった感です。このことから、行政におけるDX（デジタルインフォメーション）を推進するため、人材とIT運用改革が課題と捉えることから、大きく3点について伺います。

1 政府におけるデジタル化の9月設置に伴う重要テーマに全国自治体のシステム共通化、標準化があります。今後、国からの戦略やビジョンが随時提示されると思われますが、必然当町でもその対応や準備等検討されていると思われますが、IT人材の行政組織への書段階からブラックボックス化し、職員による自律性あるシステム構築・改革が100%反映可能かという点、調達能力が低下するといふ危惧面、システム運用も特定の企業に偏り1者のみの随意契約による排他的傾向や競争が阻害される「囲い込み」につながるのではないかという側面です。外注から内製化への提言です。

2 今後のIT化に伴う行政事務の変容により、職員の多くを定型的業務から企画立案型業務に可能な限りシフトし、町民への共感や理解等に伴う事業創出等の業務に職員能力を投入することが重要と考えます。コミュニケーション能

A **Q** 1 行政システム内製化等に伴う職員の確保についてのご所見を伺います。アラウンド内部登用、幹部職員等の庁舎内外からの公募制の実施等についてのご所見を伺います。

3 職員の能力・実績をより反映するための人事評価の仕組みの検討、若手職員及びジェンダーにとらわれない内部登用、幹部職員等の庁舎内外からの公募制の実施等についてのご所見を伺います。

1 行政システム内製化等に伴う職員の確保についてのご所見を伺います。アラウンド内部登用、幹部職員等の庁舎内外からの公募制の実施等についてのご所見を伺います。

3 従来の人事評価制度に令和2年度からは評価方法等に関し課題整理改善策の検討を進め、今年度は試行的な評価方法により実施しています。今後はさらに人材育成基本方針の改定や研修体系の見直しを進めつつ、職員登用、幹部職員の公募制度等の必要性を検討していきます。

2 専門性の高い職員や任期付き職員の採用等は現在検討を進めており、具体的には農商工連携分野行い、具体的には専門人材としての任期付き職員の交流や情報交換に取り組む、あるいは先進自治体との交換派遣等、常にその可能性を探り、小布施町職員による企画・政策提言力の一層のスキルアップ、技能向上を目指すべきと考えます。組織改編のみでない、人材面での改革について伺います。

3 職員の能力・実績をより反映するための人事評価の仕組みの検討、若手職員及びジェンダーにとらわれない内部登用、幹部職員等の庁舎内外からの公募制の実施等についてのご所見を伺います。

2 専門性の高い職員や任期付き職員の採用等は現在検討を進めており、具体的には農商工連携分野行い、具体的には専門人材としての任期付き職員の交流や情報交換に取り組む、あるいは先進自治体との交換派遣等、常にその可能性を探り、小布施町職員による企画・政策提言力の一層のスキルアップ、技能向上を目指すべきと考えます。組織改編のみでない、人材面での改革について伺います。

3 従来の人事評価制度に令和2年度からは評価方法等に関し課題整理改善策の検討を進め、今年度は試行的な評価方法により実施しています。今後はさらに人材育成基本方針の改定や研修体系の見直しを進めつつ、職員登用、幹部職員の公募制度等の必要性を検討していきます。

【議会日誌】

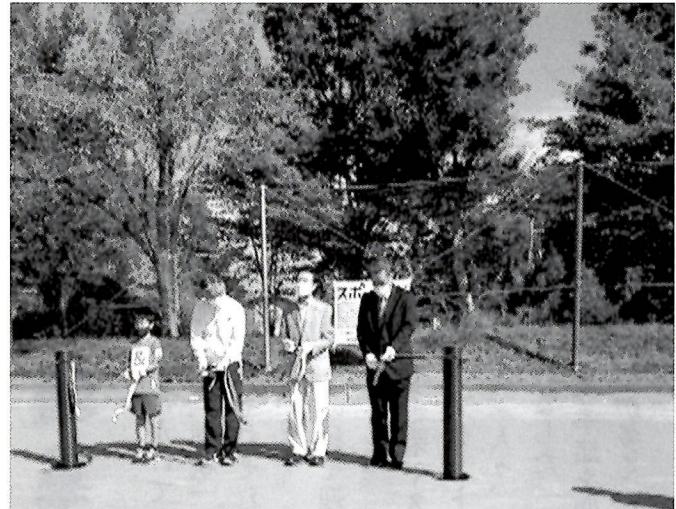
千曲大橋建設促進期成同盟会総会の開催及び参加について



千曲大橋（長野市長沼・須坂市豊洲間）県道建設促進期成同盟会総会が須坂市内で7月28日、開催されました。

小布施町からは、桜井町長他担当職員、小布施町議会からは小林議長、大島・福島・関（良）議員4名が出席し、促進のための決議を総会議長名（三木須坂市長が総会議長）で国土交通省長野出張所長及び県議会長あてに、提出をしました。

小布施総合公園テニスコート改修工事竣工



10月2日(土)9時から、澄み切った秋空の下、小布施総合公園テニスコートの改修工事が竣工し、お披露目会が中島教育長、谷川小布施ローンテニスクラブ会長、施工業者須高建設、栗ヶ丘小学校近藤君4名によるテープカットにより、スカイブルーのコート上で執り行われました。式終了後は早速、クラブ員等の皆様が試打し、感触を確かめ、その後、民間事業者がプロテニスプレイヤーを招きテニススクールが開催されました。素晴らしいコートとなり、「皆様の今後のご利用をお待ちしております。」とのコートからの声が聴けました。

8月14・15日の豪雨による千曲川河川敷地内の状況視察について



栗の若木が全滅
(千曲川左岸 小布施橋北)



リンゴが水没
(千曲川右岸 相之島北)

千曲川流域の豪雨による河川敷地内の被害状況を町担当課長他と小林議長、総務産業常任委員4名が視察しました。

小布施橋北、浅川排水機場から南側の桃、栗、リンゴの樹木が流木となったり、ペットボトル類がプラスチックごみとなっている状況があちこちで散見され、収穫直前の桃が壊滅状況、栗やリンゴ類も樹木の枝半分が水没の跡が見受けられるなど、収穫はほぼ期待できない状況となっていました。

栗の苗木も強烈な濁流の影響からか、幹折れ状態、耕作地も砂の堆積状態で、重機の搬入は困難と思われる状況で、今後復旧作業での堆積砂の除去や流木等を含む多量のゴミ類との選別作業の困難さを物語っていました。同様な状況が相之島排水機場、大島地籍の耕作地で確認したところです。復旧対策については、今後、国及び県への協議が必須です。



水流でおびただしい土砂がふきあげられた
(千曲川右岸 八木沢川)



リンゴの木が根こそぎ
(千曲川右岸 八木沢川)

世界ピースロードイン長野 (PEACE ROAD 2021 in NAGANO)



世界の平和を願い、若者たち10人が自転車でリレー方式により県内から全国に引き継いでいく途中、小布施町に立ち寄りました。（岩松院境内）

小林議長、福島総務産業委員長が支援者の皆さんとともに猛暑の中での無事達成を祈念する記念式に参加しました。

議会傍聴記



「議会を身近に感じて」

山王島 土屋 昌弘

アシスター会議委員を拝命後、会議に出席しながら思っていたことがあります。それは出来るだけ早く町議会傍聴に行きたいということです。今回9月会議と一般質問開催情報を広報で聞き、是非との思いで生まれて初めて議会傍聴席に座らせていただきました。

桜井町長をはじめ町幹部職員の皆さん並びに議員さんをはじめ議会出席者皆様、先達より大事に守り継がれている歴史ある町議会議場での紳士・淑女の立ち居振る舞いに、まずは感銘いたしました。

議員さんの質問もケーブルテレビで拝見しているのと生で見るのでは全く違い、素直に感じたのは各議員さんは政策ごとにかなり勉強されていること、町民を代表して小布施町を少しでも良くした

いという思いのもと、限られた時間の中で要點をまとめ質問されてること、議場に座つている議員の皆さんがあなたが質問している議員の話を真剣に聞いていることを真剣に聞いています。これが傍聴席について伝わってきました。

町民としてまた町議会並びに町政応援の立場で、改めて先記のとおり頑張っている議員さんを是非盛り立てて行きたいと感じました。傍聴席に多くの皆さんが座席に座り、見て・聞いて議員さんを応援しながら一緒に愛する小布施町の発展を夢見たいと思う次第です。

末筆になります、アシスター会議では議員さん、アシスター委員が膝つめで真剣に開かれた町議会そして町民のための議会運営ができるよう討議しております。

これから少しずつ寒い季節に向かっていきますが、コロナ感染予防もしっかりとれて、くれぐれもお体にご留意くださいますようお願いいたします。

議会広報常任委員会		議長	小林一広
委員長	寺島弘樹	副委員長	関水野
委員	関福島	副委員長	関貴良
クククク	小林	副委員長	関浩洋
クククク	小林	副委員長	関貴雄
理想・目標は高く、挑戦そして実績は一つ	正子	副委員長	良幸
理想・目標は高く、挑戦そして実績は一つ	悦子	副委員長	一広

